

和地ひとみレポート No.216

「市長と語ろう会」(タウンミーティング)。第13回のテーマは「特色ある公園について」 まちづくりの中での公園の位置づけは

■第13回市長と語ろう会のテーマは 「特色ある公園について」

…10月26日(水)19:00~と
10月29日(土)10:00~第13回
「市長と語ろう会」(タウンミー
ティング)が開催されました。
このタウンミーティングは、
尾崎市長が1期目から取り組ん
でいるもの。このタウンミーティングは年に2回から4
回開催し、市長が直接市民と語り合い、市民と行政の相
互理解を目的として開催されるものです。
今回のテーマは「特色ある公園について」。この取り組
みについては以前、このレポートでも取り上げたよう
に、平成28年3月に市が策定した「特色ある公園整備
基本方針」に基づいたものです。今回は、いつものタウ
ンミーティングとは違った顔ぶれの参加者も多く、子
育て世代の若いお母さんも参加しており、様々な立場
の市民の関心の高さが感じられました。



■東大和市の公園の現状は

…ここで東大和市が公園の特色化に着手することとな
った理由は、市が管理している公園のほとんどが出来
てから30年以上が経過していて老朽化がすすんでいる
ため。遊具などの施設の更新はもとより、公園機能の再
整備が課題となっていることを受け「ただの更新」では
なく、各公園を地域や市民ニーズに合わせて特色化し
てくこととなりました。
…現在、東大和市が管理する公園は“市立公園”(都
市公園法に基づき設置されているもの)が96か所(総面
積:306,945㎡)、“こども広場”(東大和市あそび場条
例に基づき設置)が18か所(総面積:23,565㎡)。
“市立公園”と“こども広場”の大きな違いは、“市立
公園”は土地を市が所有していることに對し、“こども
広場”は市が土地を借りて設置したものという点です。
今回のタウンミーティングでも、この説明の際に、“こ
ども広場”については、地主さんの意向により、変更=
無くなる場合も考えられるとの説明がありました。
…市内に96か所の“市立公園”があるといわれると、
多くの公園が市内に点在しているように感じます。
しかし、その多くは近年のマンションや戸建て分譲な
どの開発の際に、開発業者から提供された小規模のも
のとの説明もありました。市が平成26年4月に実施し
た『子ども・子育て支援ニーズ調査』や平成27年7月
に実施した『市民意識調査』では、右記のような“公園
に対する課題”となるコメントが寄せられ、これらを解
決していきたいとの説明もタウンミーティングではさ
れ、タウンミーティング参加者の方からも「この市民の
コメントは、市内の公園の実態を表しており、まったく
同感だ」との声が多くあがりました。

【『子ども・子育て支援ニーズ調査』の公園に対する意見】

- ⇒公園の遊具をもっと充実させてほしい
- ⇒小さな子どもが遊ぶ遊具が少ない
- ⇒子どもが気軽に遊べる公園が必要
- ⇒子ども達が戸外に出て遊ぶ環境が必要
- ⇒ボール遊びができる公園がほしい
- ⇒市内の外遊びマップのようなものがほしい

【『市民意識調査』の公園に対する意見】

- ⇒遊具が少ない、老朽化
- ⇒暗い、狭い、花が少ない
- ⇒トイレがない、汚い、使いにくい
- ⇒安全な砂場、健康遊具の設置
- ⇒キャッチボール等ができない、野球、サッカーが禁止され
ている
- ⇒園内の様子が分かりづらく、防犯面で不安
- ⇒大人や高齢者も立ち寄りやすく、休息しやすい環境が必要

■東大和市にとっての公園とは

…タウンミーティングの冒頭の市長挨拶では、市政全般
の近況についての報告などが話されました。その中で市
長は「東京26市の認知度という調査の結果を最近見た
が、なんと東大和市の認知度は25位という残念な結果
だった」と話され、『〇〇といえば東大和』というもの
も必要だし、広報もうまくいっていないと思っている。
そのような中、公園というものは、まさに、まちづくり
の一つの要素であると考えている」というご自身の考え
も話されました。

…今回のタウンミーティングのテーマ「特色ある公園に
ついて」のサブタイトルは「子ども・子育て支援の実現
に向けて」となりましたが、公園は子どものあそび
場としてはもちろんのこと、すべての世代、様々な市民
の憩いの場として考えるべきです。また、市が補助的な
公園のテーマとして挙げた「ユニバーサルデザイン(老
若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用
することができる施設設計のこと)」、「防災機能がある
公園」といったことは「基本」であるべきで、補助的な
テーマではないと思います。

…さらに、市長は「市が目指す『人と自然が調和した生
活文化都市』の実現の要素として公園は大切。公園を
“点”として考えるだけではなく、市内にある緑道、狭
山緑地、多摩湖というものを繋げて実現させていき
たい」という市全体のまちづくりの中における公園の位置
づけに対する考え方も述べました。今回の公園の特色化
は、新たな公園の設置ではなく『既存の公園のリニュー
アル』とのこと。実際に着手する公園が具体化した場合
は、地域の方の意見も聞きながら、計画を進めていくと
のことです。参加者の方から出た印象的な言葉に「わく
わくする公園」というものがありました。地域に愛され、
地域に守られる(≒地域の人が公園の管理に参加する
等)、地域のシンボル、市民の自慢となる公園の実現を
期待したいと思います。

オリンピック・パラリンピックのフラッグツアーが東大和市に！ 東大和市でフラッグ歓迎セレモニー開催



…リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピックの閉会式で、小池都知事にオリンピック旗（旗＝フラッグ）、パラリンピック旗が引き継がれた様子を目にされた方も多くいることと思います。現在、これらの旗は、その上陸を歓迎するセレモニーを都内全域で行うために「フラッグツアー」として東京都内の各自治体を回っています。（オリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグが東京都内 62 区市町村を巡回し各地でフラッグ到着を歓迎するセレモニーと展示を行い、また、東日本大震災で被災した東北 3 県＝岩手県、宮城県、福島県をはじめ全国にもフラッグが届けられる予定。）

…フラッグツアーは、10月10日、小笠原村からスタートし、現在は、武蔵村山市の市役所の1階に展示されています（期間：10月31日～11月4日）。そして、東大和市では11月5日、市役所を会場として開催される『産業まつり』のステージにて、フラッグ歓迎セレモニーが開催されることとなりました。

…歓迎セレモニーでは“アンバサダー”（各地のフラッグ歓迎セレモニーにおいてフラッグの引継ぎやトークショーを行う人。主にオリンピックやパラリンピアン等が任命されています）のトークショーもあります。東大和市にはオリンピック・ソウル大会出場、バルセロナ大会では8位入賞の元競泳選手の藤本隆宏さんがアンバサダーとして訪れてくださるとのことです。

…2020東京オリンピック・パラリンピック開催における問題が山積みだと報道されているところですが、人生の中でオリンピックを直に経験できることは貴重なことともいえます。歓迎セレモニーの内容や展示スケジュールは下記のとおりです。お時間のある方は、この機会を体験してみてください。

【東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグ関係セレモニー：東大和】

■開催日時：11月5日（土）午前10時～10時半

■開催場所：東大和市役所 中庭（産業まつりステージ）

■出演アンバサダー：藤本隆宏さん（俳優・元競泳選手）

※オリンピック・ソウル大会出場。バルセロナ大会では8位入賞。

NHK 大河ドラマ『真田丸』（稲田作兵衛役）に出演中。

■フラッグ展示について：11月5日はセレモニー終了後、午後4時まで展示。11月6日は展示なし。

11月7日～11月11日まで市役所1階ロビーにて展示。



藤本隆宏氏

10月に入り、不審者情報が増加・・・

子ども達の安全のため地域での声かけ・見守りを

…市からの報告によると、10月に入り通常より多くの不審者情報が寄せられるようになってきているとのこと。実際に10月17日（月）には、下校途中の第一小学校の一年生の女の子に、何者かが歩道橋から液体のようなものをかけるということが発生。幸い、怪我などはなかったものの、登下校中の不安は心に残っていると思います。当面の間、第一小学校区では登下校中の東大和警察署の見回りや青色パトロールカーによる見回りが強化されたり、小学校の教員の方々の見守りも実施されますが、やはり見守りの「目」の数を増やすための地域の見守りの効果が、不審者排除には有効とのこと。



第一小学校区だけではなく、全市の不審者情報も増加している状況を受け市は、毎日（学校休業日を除く）13時に防災無線で放送される「子どもたちに対する見守り」の呼びかけの内容を緊急的に変更することとしました。

（変更前：子供たちの声によるもの）こちらは東大和市役所です。まもなく、わたしたち小学生の下校時間です。地域の皆さんで、私たちの安全の見守りをお願いします。

（変更後：市職員によるもの）こちらは東大和市役所です。まもなく、小学生の下校が始まります。不審者情報が多くなっていますので、地域の皆さんの見守り・声かけをお願いします。

…地域の安全を守るため、いつもに増しての地域の安全への目配り、気配りなど、皆さまのご協力をお願いしたいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の（株）シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となり、月刊誌『日経 WOMAN』でのベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102